



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5706 URL <http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仙田 貞雄
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長 (氏名) 境 克也 (TEL) 03-5437-8028
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	116,557	5.9	5,173	△5.3	6,259	4.6	4,266	△8.5
27年3月期第1四半期	110,030	4.0	5,463	4.5	5,985	△1.9	4,663	10.9

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 6,901百万円(20.1%) 27年3月期第1四半期 5,744百万円(△47.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	7.47	—
27年3月期第1四半期	8.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	532,471	210,132	37.6	350.42
27年3月期	538,646	207,106	36.6	344.91

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 200,129百万円 27年3月期 196,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	234,000	3.4	10,000	△31.1	12,000	△19.2	8,000	△26.0	14.01
通期	485,000	2.5	36,000	13.1	36,000	70.6	23,400	35.8	40.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	572,966,166株	27年3月期	572,966,166株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	1,848,464株	27年3月期	1,842,579株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	571,120,882株	27年3月期1Q	571,132,519株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において四半期報告書も同日に開示する予定のため、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる場合があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、海外の景気減速により輸出が伸び悩む等の影響があったものの、円安・株高を背景とした企業業績の改善や設備投資の持ち直し等により、緩やかな回復基調で推移しました。一方、不安定な欧州情勢や中国および新興国経済の成長の鈍化等により、世界経済の下振れリスクの影響が懸念される等、先行きについては不透明な状況が続いております。

こうした経済環境の中、当社グループの売上高は、円安の進行により国内の亜鉛価格が上昇したことや北米市場において自動車用機能部品の需要が堅調に推移したこと等の影響により、当第1四半期連結累計期間は、前年同期比65億円(5.9%)増加の1,165億円となりました。

損益面では、円安効果による好転要因があったものの、インジウム価格の下落に伴う薄膜材料のたな卸資産の在庫影響(以下「在庫要因」)等により、営業利益は前年同期比2億円(5.3%)減少の51億円となりました。経常利益は、為替差損益等で営業外損益が好転したことから前年同期比2億円(4.6%)増加の62億円となりました。

また、特別損益においては、固定資産除却損等を特別損失に計上し、更に税金費用および非支配株主に帰属する四半期純利益を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3億円(8.5%)減少の42億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①機能材料

液晶パネル向け薄膜材料等の需要は堅調に推移しましたが、電池材料や電解銅箔は主要顧客の生産調整等により需要が低迷したことから、当セグメントの売上高は前年同期比12億円(3.4%)減少の367億円となりました。経常利益は、インジウム価格の下落に伴う薄膜材料の在庫要因等の影響により30億円(78.7%)減少の8億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

電解銅箔(当第1四半期連結累計期間の生産量7千t)

②金属

円安の進行により国内の亜鉛価格が上昇したこと等により、当セグメントの売上高は前年同期比59億円(19.8%)増加の362億円となりました。経常利益は、円安効果やそれに伴う在庫要因等により29億円(301.6%)増加の39億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

亜鉛(当第1四半期連結累計期間の生産量52千t<共同製錬については当社シェア分>)

鉛(当第1四半期連結累計期間の生産量16千t)

③自動車機器

ドアロック等の自動車用機能部品の需要は、米国経済の回復基調を背景に北米市場において堅調に推移しました。当セグメントの売上高は前年同期比25億円(10.1%)増加の276億円、経常利益は、6億円(98.0%)増加の13億円となりました。

(主要な品目等の生産実績及び受注状況)

自動車用機能部品(当第1四半期連結累計期間の生産金額242億円)

④関連

エンジニアリング事業の完成工事高が減少したこと等により、当セグメントの売上高は前年同期比43億円(14.5%)減少の257億円となりましたが、経常利益は、その他各種製品の需要が総じて堅調に推移したことから2億円(52.5%)増加の6億円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、当第1四半期実績と第2四半期の事業環境や為替・金属価格等の変動要因を勘案の上見直しております。

なお、通期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の業績予想につきましては、現時点で事業環境を見極めることが困難なことから、見直しておりません。

（金額：百万円）

		平成28年3月期 第2四半期 累計期間 (予想)	平成28年 3月期 (予想)
売上高	機能材料	74,700	158,100
	金属	71,200	147,200
	自動車機器	54,700	109,600
	関連	53,700	116,200
	消去又は全社	△20,300	△46,100
	合計	234,000	485,000
営業利益		10,000	36,000
経常利益	機能材料	2,500	13,400
	金属	6,700	12,300
	自動車機器	2,200	7,200
	関連	1,400	4,700
	消去又は全社	△800	△1,600
	合計	12,000	36,000
親会社株主に帰属する当期純利益		8,000	23,400

	4月平均	5月平均	6月平均	4～6月 平均	7～9月 見込	(参考) 前回予想 時見込
為替(円/US\$)	120	121	124	121	122	120
亜鉛LME(\$/t)	2,207	2,290	2,087	2,195	2,100	2,200
鉛LME(\$/t)	2,000	2,004	1,836	1,947	1,800	2,100
銅LME(¢/lb)	273	286	265	275	270	270

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,404	13,374
受取手形及び売掛金	92,359	82,601
商品及び製品	27,035	30,972
仕掛品	30,754	29,863
原材料及び貯蔵品	34,683	37,919
繰延税金資産	5,451	4,629
その他	14,627	16,895
貸倒引当金	△162	△157
流動資産合計	221,153	216,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	162,995	165,404
減価償却累計額	△108,825	△110,003
建物及び構築物(純額)	54,170	55,400
機械装置及び運搬具	329,644	333,406
減価償却累計額	△274,499	△278,270
機械装置及び運搬具(純額)	55,145	55,135
鉱業用地	512	509
減価償却累計額	△236	△235
鉱業用地(純額)	275	274
土地	33,744	33,846
建設仮勘定	9,383	7,386
その他	56,198	56,843
減価償却累計額	△44,858	△45,642
その他(純額)	11,339	11,200
有形固定資産合計	164,058	163,245
無形固定資産	4,467	4,249
投資その他の資産		
投資有価証券	136,679	137,143
長期貸付金	550	547
繰延税金資産	2,268	2,237
退職給付に係る資産	4,071	4,281
その他	5,814	5,083
貸倒引当金	△416	△417
投資その他の資産合計	148,967	148,877
固定資産合計	317,492	316,371
資産合計	538,646	532,471

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,382	40,944
短期借入金	57,896	55,995
コマーシャル・ペーパー	4,000	4,500
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	3,322	2,304
繰延税金負債	24	25
引当金	6,560	4,466
その他	28,445	30,246
流動負債合計	155,631	148,483
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	88,494	86,764
繰延税金負債	5,917	5,867
引当金	2,450	2,328
退職給付に係る負債	23,234	23,218
資産除去債務	3,018	2,890
その他	2,793	2,786
固定負債合計	175,907	173,856
負債合計	331,539	322,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,557	22,557
利益剰余金	106,908	107,578
自己株式	△601	△603
株主資本合計	170,994	171,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,613	3,196
繰延ヘッジ損益	△1,032	308
為替換算調整勘定	24,719	25,274
退職給付に係る調整累計額	△308	△312
その他の包括利益累計額合計	25,992	28,466
非支配株主持分	10,120	10,002
純資産合計	207,106	210,132
負債純資産合計	538,646	532,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	110,030	116,557
売上原価	93,078	99,718
売上総利益	16,952	16,839
販売費及び一般管理費	11,489	11,665
営業利益	5,463	5,173
営業外収益		
受取利息	45	65
受取配当金	412	649
為替差益	—	246
持分法による投資利益	576	505
不動産賃貸料	228	182
その他	281	199
営業外収益合計	1,545	1,849
営業外費用		
支払利息	522	440
為替差損	73	—
その他	427	322
営業外費用合計	1,023	763
経常利益	5,985	6,259
特別利益		
固定資産売却益	12	17
関係会社出資金売却益	—	130
その他	132	27
特別利益合計	145	176
特別損失		
固定資産売却損	17	12
固定資産除却損	226	96
減損損失	27	—
その他	97	123
特別損失合計	369	232
税金等調整前四半期純利益	5,761	6,203
法人税、住民税及び事業税	1,383	2,110
法人税等調整額	△241	△325
法人税等合計	1,141	1,785
四半期純利益	4,620	4,418
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42	152
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,663	4,266

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	4,620	4,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	336	572
繰延ヘッジ損益	△753	1,379
為替換算調整勘定	△1,196	450
退職給付に係る調整額	54	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	2,683	95
その他の包括利益合計	1,124	2,482
四半期包括利益	5,744	6,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,889	6,740
非支配株主に係る四半期包括利益	△144	160

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	36,575	26,364	25,094	21,698	109,732	297	110,030
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,451	3,889	10	8,420	13,771	△13,771	—
計	38,027	30,253	25,104	30,119	123,504	△13,473	110,030
セグメント利益	3,928	971	671	417	5,989	△4	5,985

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△330百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	35,233	32,849	27,633	20,168	115,884	673	116,557
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,502	3,397	—	5,576	10,476	△10,476	—
計	36,735	36,247	27,633	25,745	126,361	△9,803	116,557
セグメント利益	835	3,903	1,329	636	6,704	△444	6,259

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△260百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。